

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2025 年度第 9 回（11 月）理事会議事録

- ◇日 時： 2025 年 11 月 13 日（木）19 時 00 分～20 時 30 分
- ◇会 場： Web 会議併用（公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所）
- ◇出席者： （事務所参加）増田、梶、上田、安保、山田、上地、佐藤、山西、岡本、豊田、
藪、是永、喜舎場、堀田、平川、安江、井戸田監事、杉山監事、茂永監事、竹浦
参与、高田参与
（Web 参加）小宮山
- ◇欠席者： 赤木
- ◇議 長： 増田

本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いにできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告（10 月分）

日	行動内容	役員名
2	精度管理部会	山西、安江
5	2025 年度タスク・シフト/シェア に関する厚生労働大臣指定講習会	小宮山、是永、藪
6	第 8 回大臨技医学検査学会 実行委員会	梶、小宮山、是永、平川、佐藤、堀田 （Web）増田、上田、上地、藪、安江、豊田、山田
6	日臨技執行理事会	（Web）竹浦
7	学術部会	安保、佐藤、小宮山、平川、堀田
9	理事会	増田、梶、安保、上田、佐藤、山田、上地、山西、岡本、 喜舎場、豊田、赤木、是永、堀田、小宮山、平川、安江、 井戸田、杉山、竹浦、高田、（Web）茂永
14	大阪府衛生検査所精度管理審議会	増田、上地、是永、平川、堀田
14	堺市精度管理立入調査	喜舎場
15	総務庶務・広報編集・会計部会	梶、上田、上地、是永、平川、藪、安江、豊田、山田、 赤木、堀田
16	堺市精度管理立入調査	山田
16	第 8 回大臨技医学検査学会 実行委員会	平川、山田、佐藤、堀田 （Web）増田、是永、藪、安江、豊田、上地

17	組織部会	小宮山、薮、岡本 (Web) 是永
17	新年互礼会会場下見	梶、上田、上地、安江、豊田、赤木、堀田
18	第 15 回大臨技がんフォーラム	梶、安保、上田、岡本、上地、安江、豊田、山田、喜舎場
20	手話講習会 中級編 1 回目	赤木
20	日技連	(Web) 上田、上地、高田、山田、岡本
20	堺市精度管理立入調査	喜舎場
21	渉外部会	安江、喜舎場、赤木
21	日臨技人事委員会	(Web) 竹浦
22	常務理事会	梶、安保、上田、佐藤、山田、上地 (Web) 増田
22	大阪市精度管理立入調査	高田、赤木
23	日臨技ラダー研修会	(Web) 竹浦
25	2025 年度 大臨技精度管理勉強会	山西、梶、上田、平川、杉山、安江
26	第 20 回府民健康フォーラム	梶、上田、平川、山田、喜舎場、赤木、安保
27	大阪府衛生検査所立入検査	是永、上地
28	堺市精度管理立入調査	山田
28	日臨技災害対策 WG	(Web) 竹浦
29	第 8 回大臨技医学検査学会 実行委員会	平川、佐藤、安保 (Web) 梶、上田、小宮山、上地、是永、安江
30	大阪市精度管理立入調査	井戸田

Ⅱ．経過報告

1．事務局

〈総務庶務部〉（報告者：上地常務理事）10 月 15 日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （１）2026 年新年互礼会（参加者リスト、案内状など）について検討した。
- （２）2026 年度大臨技会員関係資料（入会案内、会費納入方法など）について検討した。
- （３）会長賞推薦依頼について検討した。
- （４）2026 年度賛助会員申込関係について検討した。

〈広報編集部〉（報告者：山田常務理事）10 月 15 日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （１）大臨技ニュース 10 月号 Web 版を発行した。
- （２）大臨技ニュース 11 月号（第 442 号）の編集作業を行った。

(3) ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉(報告者：上田副会長) 10月15日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 講師の宿泊費について検討した。
- (2) 10月事務員給与を支払った。

3. 事業局

〈渉外部〉(報告者：安保副会長) 10月21日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 全国検査と健康展の進捗状況を確認した。
- (2) 第20回府民健康フォーラム進捗状況を確認した。
- (3) 新年互例会に参加するよう伝えた。
- (4) 第8回 大臨技医学検査学会の案内をした。
- (5) 理事会報告を行なった。
- (6) がんフォーラムの報告を行なった。
- (7) リレーフォーライフの報告を行なった。

〈組織部〉(報告者：安保副会長) 10月17日(金) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 2026年度組織部事業について検討した。
- (2) 2025年度タスク・シフト/シェア講習会について確認した。
- (3) 教育セミナーのあり方について検討した。
- (4) 2025年度大臨技ニューリーダー研修会について検討した。
- (5) 南地区：富田林市 健康応援キャンペーン参加報告を行った。
- (6) 中央地区：オープンセミナーについて確認した。
- (7) 全国「検査と健康展」のスタッフ募集案内を行った。
- (8) 2026年新年互例会参加案内をした。
- (9) 第8回大臨技医学検査学会、一般演題および実務委員募集案内を行った。
- (10) 理事会報告を行った。

〈学術部〉(報告者：佐藤常務理事) 10月7日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技学会について検討した。
- (2) 2025年度事業計画の進捗を確認した。
- (3) 予算案作成について周知した。
- (4) 新年互礼会について検討した。
- (5) 理事会報告を行った。

〈精度管理部〉(報告者：山西理事) 10月2日(木) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 10月25日開催の勉強会の役割分担について協議した。

Ⅲ. 報告事項

1. 職務執行状況報告について(会長・副会長・常務理事)

- (1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、安保副会長、山田常務理事、上地常務理事、佐藤常務理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
 - (2) 2025 年 9 月における役員行動報告・役員各部報告があった。
- 2. 2025 年 10 月事業開催状況報告について（梶副会長）
 - (1) 上記について資料が示され確認した。
- 3. 9 月までの予算執行状況について（上田副会長）
 - (1) 疾患予防セミナーは事業が終了しており 10 万円返金可能である。
 - (2) がん検診フォーラムの未執行額については 10 月に運用する。
 - (3) 地域ニューリーダーは事業開催をせず全額返金する。
 - (4) データ標準化の未執行額は来年に報告会を開催するためのものである。
- 4. 2025 年 10 月現在の予算執行状況について（上田副会長）
 - (1) 各部門に中間決算で事業費返金可能額を確認したところ合計で 79 万円ほどある。
 - (2) 予算計画に近づけるために返金額を公益事業で費やす計画を会計部で考えると報告された。
- 5. 公益法人の事業について（梶副会長）
 - (1) 大阪府に提出している事業内容に沿って次年度の予定を立てるようお願いした。
- 6. 大阪府の立入調査の結果について（梶副会長）
 - (1) 職員賞与を支給するという定めがあるのに賞与引当金が計上されていないと指摘があった。
 - (2) 次年度の事業報告等に係る提出書で対応する。
- 7. 2026 年新年互礼会について（上地常務理事）
 - (1) スケジュール・来賓リスト・案内状が提示された。
 - (2) 参加者 160 名想定でおよそ 160 万円であると見積書が提示された。
 - (3) 余興はせず各部門から事業開催の報告をしてもらう。
- 8. 2026 年度大臨技会員関係・会長賞推薦・賛助会員申込関係について（上地常務理事）
 - (1) 大臨技入会案内が示された。賛助会員への案内は郵送やメールで送付する。
 - (2) 会長賞について候補者推薦依頼文が示された。
- 9. 法人設立 40 周年記念式典進行予定表（案）について（上地常務理事）
 - (1) 令和 8 年 10 月 24 日 15 時～19 時にアートホテル大阪ベイタワーで開催される予定であり進行予定表が示された。
 - (2) 15 時から記念式典を行い 17 時 15 分より記念祝賀会を行う。
- 10. 全国「検査と健康展」について（喜舎場理事・藪理事）
 - (1) プレスリリースの案内文が提示された。
 - (2) 当日のマニュアルが示され集合時間は 8 時半である。
 - (3) 実務委員への謝金は 3,000 円としていたが予算計画提出時に 5,000 円で申請しておりすでに承認されていたので今回は 5,000 円とする。学生にも 1,000 円支給する。

(4) 認知症に効果のあるミニらいとモルックをレンタルで使用する。購入については今後検討する。

11. 黒住医学研究振興財団推薦依頼について (梶副会長)

(1) 福見秀雄賞・小島三郎記念技術賞に推薦があれば連絡下さいとお願いした。

12. その他

(1) 物品借用書について (梶副会長)

・渉外部より全国「検査と健康展」に非侵襲性ヘモグロビン測定器とエコー装置の借用申し込みがあった。

(2) 日臨技連盟の加入について (高田参与)

・大阪府の日臨技連盟の加入者がかなり少ないので理事には加入してほしいとお願いした。

(3) 令和8年・9年日臨技会長候補について (竹浦参与)

・横地氏と長沢氏が立候補しビデオが公開されている。

・大阪府は投票率が低いので協力をお願いした。

IV. 議 題

1. 第8回大臨技医学検査学会について (佐藤理事)

(1) 府民公開講座の講師は片平 敦氏が承認された。全国「検査と健康展」で配布するポスターは350名の事前申込制とし「アスマイル申請中」については掲載しない。アスマイルの申請が通ればアスマイルのロゴを入れたポスターを作成する。支払業務は名鉄観光サービス株式会社へ委託する。

(2) 生理検査ハンズオンの講師については生理検査部門員に依頼し報酬は3,000円とする。被験者は学生にお願いし参加費無料・ランチョン付・報酬3,000円とすることが承認された。

(3) 参加登録についての一斉メール配信が承認された。

(4) 超音波診断装置のレンタルについてはコンプライアンスに触れないように気を付ける。

2. 講師の宿泊費について (上田副会長)

(1) 講師の宿泊費について遠方から来られる講師には上限1万円としていたが遠方について具体的に規定がなかった。

(2) 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会「宿泊料及び交通費の支給に関する運用内規」を参考に「自宅を6時前に出発しなくてはならない場合の前泊又は帰宅が22時以降となる場合の後泊」という文言を大臨技会計マニュアルに追記する。

(3) 8月理事会で招聘を承認された一般検査部門の広島県から来られる講師に対しての宿泊費も承認された。

3. 2026年度組織部の活動について (岡本理事)

(1) 大臨技教育セミナーについては限られた予算で 400 名収容の会場を確保しないといけないことや養成校では類似の事業が実施されているなどの理由で今後は大臨技医学検査学会内で開催したいと考えていると申し出があった。

(2) 理事や養成校にアンケートをとって今後の方針を検討する。次年度に関しては従来の形で進めるということになった。

(3) 会員交流会については参加者が少ないこともあり世代別の新入会員向け、中堅向け、管理職向けにわけて 3 つの事業を展開したいと考えている。

(4) こちらの件もアンケートをとる。大阪府に提出している事業計画内容に照らし合わせて開催するように促した。

4. 令和 8 年度憲法記念日知事表彰の推薦について（梶副会長）

(1) 安保副会長を推薦することが承認された。

5. 令和 8 年秋の叙勲褒章候補者（衛生分野）の推薦について（梶副会長）

(1) 今回は該当者なしとする。

(2) 令和 9 年春の叙勲褒章候補者（衛生分野）の推薦については杉山監事を推薦することが承認された。

6. 会議用の椅子について（梶副会長）

(1) 事務椅子ではなく重ね置きができる会議椅子を購入することが承認され費用はおよそ 45 万円である。

(2) 会議椅子 25 台と事務員用の会議椅子 2 台を購入する。現在使用している椅子は行岡医学技術専門学校が一部引き取る予定である。

7. 役員忘年会について（梶副会長）

(1) 12 月 11 日に行い理事会開始時刻は 18 時半とする。